

28

社会医療法人財団
石心会

埼玉石心会病院

350-1305 狭山市入間川2-37-20

TEL 04-2953-6611(代表)

FAX 04-2953-8040

URL https://saitama-sekishinkai.jp

病院データ

※2024年4月～ 2025年3月の計数

病床数

470床

医師数

154人

指導医数

47人

外来患者数
(1日平均)

174人

入院患者数
(1日平均)

423人

救急外来
患者数
(1日平均)

62人

救急車搬送
患者数
(1日平均)

27人

心肺停止状態
搬送患者数
(1日平均)

0.9人

診療科目 内科／呼吸器内科／循環器内科／消化器内科／糖尿病内科／内分泌・代謝内科／腎臓内科／神経内科／感染症内科／人工透析内科／緩和ケア内科／外科／呼吸器外科／心臓血管外科／消化器外科／乳腺・内分泌外科／肛門外科／整形外科／脳神経外科／形成外科／精神科／小児科／皮膚科／泌尿器科／婦人科／眼科／耳鼻咽喉科／リハビリテーション科／放射線科／病理診断科／救急科／麻酔科／歯科(33診療科)

病院の特徴

「幅広い初期救急対応能力の習得」「Common diseaseに対する診療能力を身につける」

- 2年間常に救急診療に関わる●救急科研修を1年次に4週×2回、2年次に4週×1回 実施。●別途、週1回 半日の救急研修(救急当番)
- 多種多様な症例に関わる●救急車受入れ台数、約10,000件／年●救急搬送患者・Walk-in患者のファーストタッチは初期研修医
- 技術が身につく●救急外来でのファーストタッチ経験数、約700件／年●CV挿入、気胸に対しての脱気・トロッカー挿入、Aライン挿入など基本手技を経験可能●上級医の手厚いバックアップ と フィードバックあり●治療方針にも積極的に関与可能
- 多彩な学習機会●各種カンファレンス、セミナーを多数開催●BLS、ICLS、JMECC、JPTEC 資格取得支援あり
- 屋根瓦式教育●上下のつながりが強く、互いに支えあう雰囲気●「教え、教えられる」なかで共に成長できる環境

支援制度

見学補助／なし

住宅補助／あり

宿舎／なし

産休・育休
(研修医の取得実績)／あり

メッセージ

充実の救急科研修で実践力を養う

研修管理委員長／プログラム責任者
杉浦 良子
出身大学:徳島大学

当院は「断らない医療」「患者主体の医療」「地域に根ざし地域に貢献する医療」という3つの理念をもとに、地域の急性期医療を担っています。研修医の先生は救急患者さんの初期対応、必要な検査を組み、治療方針を決めて実践するということまで上級医の指導のもと、すべて行っています。他診療科ローテーション中にも救急の当直や日直を担います。2年間を通じて途切れることなく救急診療に携わることで、自ら考え、行動する力が身につきます。また、当院は医師同士の診療科の垣根が低く、みな教育熱心でフレンドリーです。研修中に困ったことがあれば診療科を越えて誰にでも相談できます。是非一度見学にお越しください。お待ちしております。

初期対応と手技が磨ける研修環境

研修医1年目
下川 風悠大
出身大学:埼玉医科大学(2025年卒)

当院は、研修医が多くの手技や救急対応を経験できる、実践的な研修環境を備えています。

救急外来でのファーストタッチは研修医が担当しており、その経験数は年間約700件にのびります。また、CV挿入、気管挿管、Aライン、胸腔・腹腔穿刺などの基本手技に加え、侵襲度の高い処置や手術も教育熱心な上級医の指導のもとで行うことができます。「3年目以降に当直しても困らない力をつける」「Common diseaseを診療できるようになる」ことを目標としていた私は、救急科研修に加え、週1回の救急当番や当直に参加できる点に大きな魅力を感じました。

実際に、日々の業務を通じて初期対応の知識と技術の向上を実感しています。「Common diseaseを診たい」「手技や救急を多く経験したい」と考えている方、ぜひ当院での研修を検討してみませんか。

研修データ

初期研修医数
(1年目)

10人

初期研修医数
(2年目)

10人

昨年度
マッチング
受験者数

69人

募集人数

10人

当直日数
(月平均)

4~6日

当直
開始時期

1年目4月

当直時の
勤務体制※
※研修医以外の当直人数

2人

主な
出身大学

【2025年度入職 -10名-】埼玉医科大学／筑波大学／帝京大学／東海大学／東京女子医科大学／新潟大学／三重大学
【2024年度入職 -10名-】秋田大学／岩手医科大学／高知大学／佐賀大学／信州大学／東京医科大学／獨協医科大学／福島県立医科大学

研修プログラムの特色

患者中心の医療を行い地域社会に貢献する医師となるべく、「医師としての良識とチーム医療を実践できる能力を身に着けること」「将来専門とする分野にかかわらず、医師として必要な診療に関する基本的知識、技術、問題解決力を習得すること」を研修の理念としています。地域の中核的な超急性期病院である当院では、救急患者や緊急入院が多く、また複数の医学的問題を抱えた高齢者の入院が多いことが特徴の一つです。臓器にとらわれない「Generalist の視点」で救急から入院初療、退院まで一貫して関わり、退院後のケアや患者家族の心情までも配慮できる「主治医としてのマネジメント能力」の礎となる研修を行っています。

研修スケジュール《年間研修予定(例)》												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科(24週:総合診療科 8週、消化器内科 8週、循環器内科 8週)					外科 (8週:消化器外科+乳腺・内分泌外科)		外科系	救急科		自由選択	
2年次	集中 診療科	救急科	地域医療	小児科	産婦人科	精神科	自由選択					

■ローテーションは研修医ごとに異なる■1年次研修内容は2年次4月末まで■必須「救急科」研修に加え、週1回 半日の「救急科」並行研修(救急当番)を2年間通して実施■外科系(4週)※右記より選択:整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、泌尿器科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、救急外科■「小児科」「産婦人科」「精神科」「地域医療」は連携施設病院で研修■自由選択(1年次8週:4週×2+2年次 最大28週)※右記より選択(最低1診療科 4週以上):総合診療科、腎臓内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、糖尿病／内分泌・代謝内科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、整形外科、脳神経外科、救急科、心臓血管外科、形成外科、麻酔科、泌尿器科、リハビリテーション科、集中診療科、救急外科

専門研修
プログラム
(基幹施設)

内科

外科

小児科

産婦人科

精神科

皮膚科

眼科

耳鼻咽喉科

泌尿器科

整形外科

脳神経外科

形成外科

救急科

麻酔科

放射線科

リハビリテーション科

病理

臨床検査

総合診療科

研修医の処遇

●給与／1年目:40万円／月 2年目:45万円／月

●諸手当／当直・日直手当、時間外手当、通勤手当、
扶養手当(規定に準ずる)

●勤務時間／8:30～17:00

●保険／健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険

●休暇／1ヶ月単位の変形労働制(公休 8日／月 ※1月のみ 9日)／当直明け休暇／夏季休暇(2日)／有給休暇(1年次 10日／2年次 11日)／慶弔休暇

●その他／職員専用レストラン、研修医室(自机・書棚)、図書室、学会・研修等の参加費補助(10万円／年)・学会休暇(6日／年)、保養宿泊施設・娯楽施設 など、保育室(0～3才)

応募連絡先

医師人事部 研修管理課:三輪 ゆり枝

TEL 04-2953-6611(代表)

FAX 04-2953-8040

Mail initial-residents@saitama-sekishinkai.org

77

78